



「学校」の夏休み

校長 二瓶 庄吾

今年の夏も記録的な暑さや大雨など心配なこともありましたが、それぞれの夏の思い出とともに、夏休みを元気に過ごした子どもたちが日吉台小学校にもどってきました。

子どもたちが家庭や地域で過ごしていた夏休み、『学校』はどんな夏休みを過ごしていたでしょう。

猛暑が続いていた8月の中ごろ、職員玄関を開けると、廊下が周りのものを映しこむほどに輝いていました。校長室なども全部ピカピカ！これは、用務員さんが計画的に準備をし、真夏の猛暑の中、人けのない学校でワックスがけをしてくれていたのです。そしてみんなが毎日使うトイレもピカピカでした。子どもたちや先生たちが、気持ちよく安全に過ごせるようにと心をこめて作業をしてくれていました。

先生たちはどうでしょう。夏休みに入るとすぐ、校内で様々な研修会・研究会を実施します。よりよい教育活動ができるよう計画的に、自主的に取り組んでいました。特別支援教育や道徳教育は、専門の講師の先生に来ていただき研修を深めました。また、それぞれの専門性を高めるために校外の研修・研究会に積極的に参加し、授業等で生かせるように熱心に学んでくる先生がたくさんいます。もちろん、しっかり休んで心も体もリフレッシュして、元気に子どもたちの前に立つことも大切です。「夏休み」だからこそできる様々な取組に一生懸命がんばっている日吉台小の先生たちでした。

また夏休み中に、照明のLED化の工事を行い、全教室・体育館の照明がLEDになりました。LED照明は環境にやさしく、明るさが安定しているため教室や黒板が見やすくなり、子どもたちの学習環境の改善につながります。

子どもたちも先生も、これから楽しく充実した学校生活が送れるよう、夏休みの思い出とともに身につけた力や蓄えられた力を発揮して行ってほしいと思います。

夏休みという大きな区切りに、それまでの生活を「振り返り」、それをもとに「目標」をたてるのが、夏休み明けからの生活を充実させていくことにつながります。また日々、「目標」をたて「振り返り」をし、その「振り返り」をいかして「目標」をたてる、これを続けることが、「一日一日を大切にする」ということにもなります。そこで、「ぶんかちゃん」の新しいお友だちを考えてみました！

「ふりカエルぶんかちゃん」と「もくヒョウぶんかちゃん」といっしょに、楽しく充実した学校生活をつくっていききたいと思います。

